

人工衛星SPOTがとらえた房総半島（2）－鋸山周辺－

データ収集：東京スポットイマージュ株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

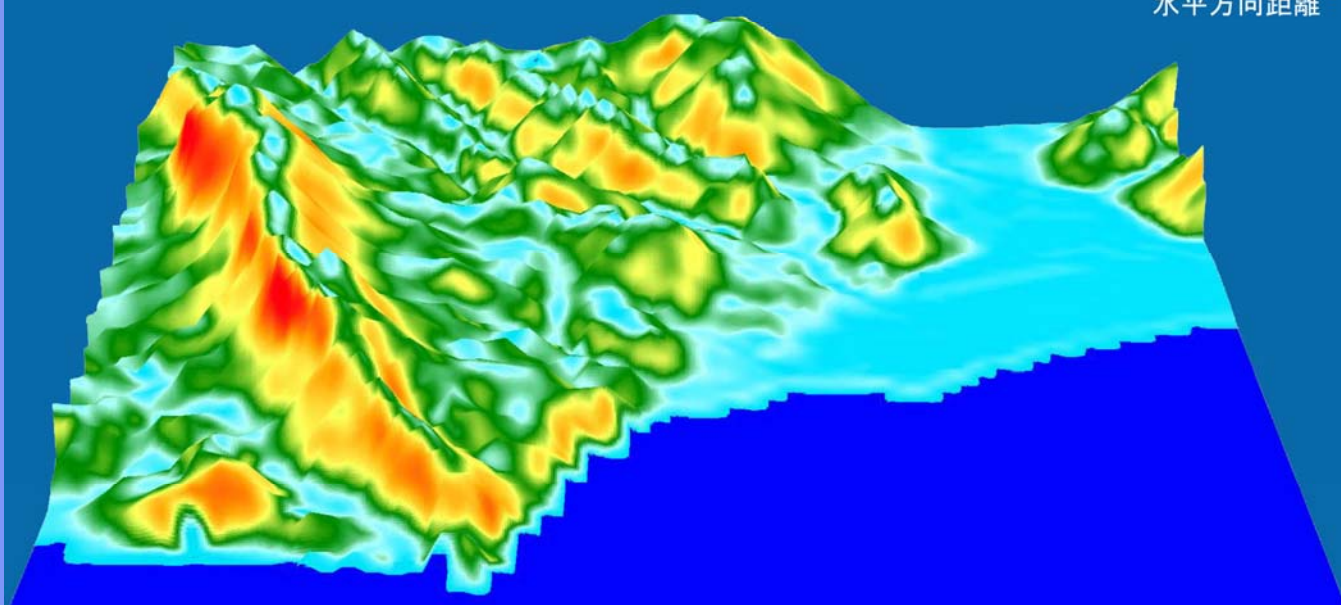
前掲のナチュラルカラー合成画像（保田周辺）を50mメッシュの数値地形モデル（DTM: Digital Terrain Model）に重ね合わせて3次元表示（鳥瞰図）してみました。地上分解能2.5mというSPOT・HRGデータの精度の高さを伺い知ることができます。また、下側の図は50mメッシュの数値地形モデルから作成した傾斜区分図を3次元表示したものです。周辺の山に比べて、鋸山の傾斜度と起伏量が特に大きいことが判ります。鋸山は南房総国定公園として指定されており、年間80万人もの人々が訪れる観光地の1つとなっています。前掲の画像とともに様々な情報を判読してみてください。

観測日 2002年 11月



鳥瞰図（ナチュラルカラー合成画像とDTMの重ね合わせ）

0 250 500m
水平方向距離



傾斜区分（傾斜区分図とDTMの重ね合わせ）

0 42度

© CNES/Spot Image 2002